ロスプリベンションへの道４ 協働防犯（15）

炎・ゼロリセットでデータガバナンス作り

NPO法人 全国万引犯罪防止機構

◆炎・ゼロリセット

２０１１年10月１日（土）の散歩中に拾ったメスの子猫（洋猫）が２０２４年12月14日（土）に死んだ。拾ったときは３５０グラムとやせ細り、虫の息だった。連日のように獣医師に診てもらい、なんとか体調が回復し、いままで生きぬいた。いつもいっしょにいたのは妻の方で四六時中妻の側にいてくれた。しかし、最初と最期はどういうわけか私の方だった。12月14日（土）にペットの火葬に初めて立ち会った。「ご縁」と名付けたこの猫はたいていダイニングテーブルにいて、家族や友人達に安らぎをくれた。火葬のスイッチが押される瞬間に、すべての思い出が一点に集約し、心が無明になるのを感じた。

翌日の夕方に焚火をした。焚き火の暖かさや光が包み込む中で過ごす時間は、日常生活の中で忘れがちな命への感謝や、自然の美しさ、力強さを改めて思い出させてくれる。焚き火のオレンジ色の炎は、心理学的にもポジティブな影響を与える色とされる。この色は、安心感や幸福感を促進すると同時に、焚き火を囲むことで得られる心の解放や精神的なゼロリセットは、生きるなかで不可欠な要素だと思う。ペットも焚火も私たちの生活に深い味わいと豊かさをもたらしてくれている。

◆ＪＥＡＳデータガバナンス＊タスクフォース合宿報告

２０２４年11月28日（木）～29日（金）にＪＥＡＳデータガバナンス＊タスクフォースで合宿を行った。以下の「スケジュール」と「メンバー」で宣言案やＡ班の発表内容をご紹介したい。参加者にはゼロベースで参加してもらい、一から作り上げた内容である。各社に於かれては、ＡＩ推進の指針に参考にしていただきたい内容である。

11／28（木）

10：00 熱海駅集合
10：30 カンファレンスルームの会場設営
11：00 オリエンテーション進行：稲本会長
○目的、スケジュール、部屋割り確認
○自己紹介
○先達企業からの法的アドバイス 摺田委員長、山本ＷＧ長
12：00 昼食
13：00 取り巻く環境の確認 1
○ＡＩ開発の経験から学ぶ アースアイズ社の山内社長 ＊
○データガバナンスの先進的取組み セーフィー社 中内氏
○個人情報保護法でＡＩや顔認証に関連すること 木村弁護士
○ＰＩＡの事例 東京海上ディーアール株 青島氏＊
15：10 休憩
15：25 現状の営業戦略以外の課題の洗い出し（例）運用ガイドライン、データガバナンス、告知ＰＯＰと監査
16：00 課題やテーマ毎のチーム分け、チームリーダー決め
16：30 各チームでワーク、資料集め
18：15 状況発表
18：45 終了、チェックイン
19：00 夕食と情報交換会
21：00 1日目の行事終了、会議室での情報交換 10名参加
24：00 就寝

11／29（金）

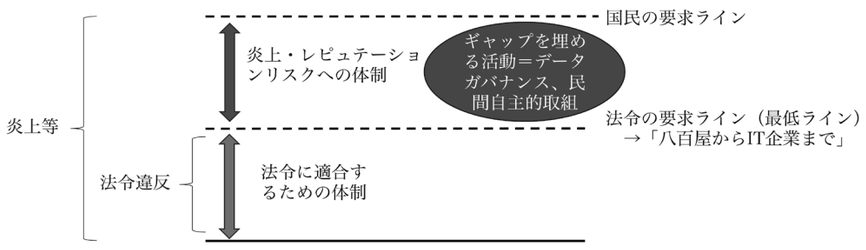
07：30 朝食
08：50 5分でできる防犯挨拶訓練
09：10 取り巻く環境の確認 2
○ＣＩＡ社の取組みデータの分析等 三明氏
09：25 チーム毎の作業
11：00 各チームの成果物の途中発表、アドバイス
12：00 昼食
13：00 各チームの修正対応
14：00 各チームの発表
14：30 休憩
14：45 各自、今回学んだことをどう活かすのか
15：00 全員、その内容を発表。チームと個人に「頑張ったで賞（図書カード）」をご用意。
15：45 終了、片付け、帰社・帰宅
＊オンライン参加
全資料と各班の発表及び小嵐宣言の資料は、会員ページのＣ-37に保存

工業会ＪＥＡＳ
２０２４年11月29日

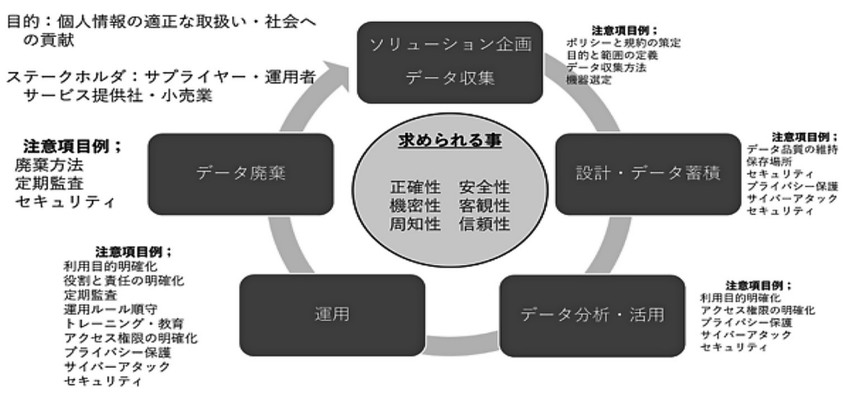
ＪＥＡＳデータガバナンス＊タスクフォース 合宿報告

目的：ＡＩ（画像と文字）をご理解いただくためのデータガバナンス、ガイドライン、告知とチェックリスト作り
日時：11月28日（木）10：30～11月29日（金）16：00
参加者：木村一樹、稲本義範、上野順子、野口祥子、黒岩佳加、土田美那、摺田祐司、中西陽一郎、山本健二、林俊一、豊田孝志、三明和也、森川真次、井上謙二、青柳秀夫、脇弘之
以上16名（順不同、敬称略）

工業会ＪＥＡＳ　日時：11月28日（木）10：30～29日（金）16：00　会場：レクトーレ熱海小嵐



ＡＩ推進のためのデータガバナンス　熱海小嵐宣言　抜粋



JEAS データガバナンスフロー

12月6日（金）第４回工業会ＪＥＡＳの理事会を開催

万防機構のセルフレジ不正対策会議

冒頭、竹花豊理事長（写真上・中央）は「毎月１回、小売事業者らの方々と万引きの被害状況や対策について意見交換を行っているが、セルフレジでの不正についてもしっかり検討すべきだという声があがった。今やセルフレジでの不正は多くの方々にとって切実で深刻な問題になっている。被害に遭った事業者だけでなく、各社が協働して対応し、警察も連携して対策を講じていく。知恵を出し合ってしっかりやらないといけない時期にきている」と情報共有の重要性を強調した。

（理事長挨拶文は激流オンラインより https://gekiryu-online.jp/2024/12/184500）

◆万防機構のロス対策士普及委員会にて

12月13日（金）ＬＰ教育制度作成委員会改め、ロス対策士普及委員会がオンラインで開催された。ＪＥＡＳで科学保安警備の育成が行われているものの、店内の制服警備（立哨・巡回・接遇）のマニュアルが未整備なチェーン店があり、いくつかの小売業より、改善をお願いされていることを委員会で話し合った。事実、最新のロス対策テキストｖｅｒ・２・０には制服警備の説明が４行ほどしかなく、そもそも防犯理論に裏打ちされていた記述でもないので、以下の内容面を今後の上級者テキストで折り込むことを近江委員長と確認しあった。

６・１ 警備体制と組織体制

犯罪機会論と犯罪原因論を店内の防犯活動に当てはめてみると３つに分かれます。どれが正しいということはありません。店舗形態や商品の特性によって対応策を考えれば良いのです。但し、不審者が万引行為に及ぶ前に諦めさせる行為と万引行為に及んだ後に捕捉する場合のリスクを比べた場合、絶対的に捕捉業務の方は身体的危険度やクレーム時のリスクが格段に高くなります。リスクマネージメントの意味においても投資効果の観点から判断した場合、「万引きをさせない売場体制」作りが賢明な防犯方法であることは間違いありません。

1、制服警備や社員巡回による万引行為の牽制（予防主義・犯罪機会論）
2、私服警備（保安員）による万引行為の捕捉（検挙主義・犯罪原因論）
3、制服警備（または社員）と私服警備の併用（予防主義と検挙主義の併用）

	犯罪の強い要素	ハードな要素	ソフトな要素
標的	抵抗性 …犯罪者から加わる力を押し返そうとすること	恒常性 …一定不変なこと	管理者意識 …望ましい状態を維持しようと思うこと
場所（領域）	領域性 …犯罪者の力が及ばない範囲を明確にすること	区画性 …区切られていること	縄張意識 …侵入は許さないと思うこと
	監視性 …犯罪者の行動を把握できること	視認性（無死角性） …見通しがきかない場所がないこと	当事者意識 …自分自身の問題としてとらえること

犯罪機会論『犯罪に強い３要素』

大切なことは、現在自社で取り組んでやっていることが、予防主義の活動なのか、それとも検挙主義の活動なのかを理解し、目的にあった取り組み方法や評価の基準が必要になります。

すなわち店内立哨警備や店内の巡回警備員の主たる責務は万引行為の牽制であり、万引者の捕捉業務ではありません。従ってその評価基準は期間中何人捕捉したのかではなく、

①不審者を牽制すること（日時・内容などの詳細）
②巡回中の防犯観察（機器の状況・売場の状況・従業員さんの接客態度）

不審行為があった場所や内容の記録化や値札や空箱がいつどこに落ちていたのか、店舗の売場レイアウトのマッピングをすることです。これらの牽制業務と防犯面の報告業務の精度や質が制服警備の評価項目になります。店内の死角や不審行為が行われる場所を分析し、巡回ルートと確認項目、そして、従業員との連携体制を打ち合わせしていくことで「防犯対策の見える化」が促進されます。

６・３ 実施項目の可視化

本部担当者の重要な仕事として、防犯の年間業務スケジュールを明確化しておくことをお勧めします。防犯上で日・週・月・半期単位で何をしなければいけないのか、必要なことを明確にしておくと良いと思います。これらの実施事項（プロセス）が明確になれば、結果からのフィードバックが可能になります。結果的にちゃんとやっているところは万引き行為も減り、ロスが削減されますが、その〝ちゃんと〟という部分を数値化できれば、組織全体としてさらなる改善が可能になります。「ロスは店長に付いて回る」という表現をよくお聞きしますが、それは、なぜ？と疑問を持っていただきたいのです。気づきはマニュアルに書かれていることの何倍も重要です。それは〝気づき〟が万引き対策の決めてになることが多いからです。

下記の表は、制服警備が巡回中に確認しているのように可視化しておくと売場の防犯体制が一定に保たれます。

2007年2月5日（月）－2007年2月11日（日）

店長	販売責任	後方責任	施設責任	警備責任

				2007年2月8日（木）			2007年2月9日（金）		
				Aさん	Bさん	Bさん	Aさん	Aさん	Bさん
階	コーナー	ブランド	確認内容	10時	●時	23時	10時	●時	23時
2階	化粧品	シーセー	①陳列量は3個までとなっているか	○	○	○	○	○	○
			②什器下ストッパの施錠	○	○	○	○	○	○
			③無人になって無いか	○	○	○	○	○	○
			④基準外の高さのPOPは無いか	○	○	○	○	○	○
			⑤1,980円以上の商品とテスターの管理タグ付け	○	○	○	○	○	○
			⑥パッケージの上フタはテープで閉じられているか	○	○	○	○	○	○
			⑦値札やPOPへの落書きは無いか	○	×	○	○	×	○
			⑧中身の抜かれた箱が無いか	○	○	○	○	○	○
			⑨カメラの向きは適切か	○	○	○	○	○	○
			⑩夜間ネットと施錠			○			確認
			⑪人感センサーライトの確認			○			○
3階	ランファン	ワンゼ	①什器下ストッパの施錠	○	○	○	○	○	○
			②無人になって無いか	○	○	○	○	○	○
			③基準外の高さのPOPは無いか	○	○	○	○	○	○
			④2,480円以上に管理タグが付けられているか	○	○	○	○	○	○
			⑤在庫がまとめって無くなっている場所が無いか	○	○	○	○	○	○
			・						
			・						
	連絡通路	JR側	①パッシブセンサーの動作	○	○	○	○	○	○
			②カメラの向き	○	○	○	○	○	○
			③不審物は無いか	○	○	○	○	○	○
			・						
			・						
				シーセーコーナーで女子高生がマニュキュアでPOPに落書きしていたためその場で注意を与える。カメラ映像あり			23時にシーセーのネットの前でバックを持って携帯電話中がいたが、あわてて立ち去った。画像は本部●●●部長へ転送済み。		

万引き予防のための店舗巡回リストの例

◆ＪＥＡＳ理事会にて推奨顔認証システムや推薦製品などを発表

12月6日（金）に第４回工業会ＪＥＡＳの理事会を開催し、第４回科学保安検定講習会の合格者の発表、第5回推奨顔認証システム検定認定をセーフィー（株）のＡＩ-ＡＰＰ人物検索に、推薦製品認定Ｎｏ・００６を（株）パトライトのネットワーク制御信号灯に贈呈した。勉強会では「内閣府・基幹インフラ役務の安定的な提供の確保に関する制度」について摺田委員長より説明があった。その後、忘年会を行い、２０２４年のＪＥＡＳ公式行事はすべて完了した。

◆万防機構のセルフレジ不正対策会議

全国万引犯罪防止機構主催で、以下の内容で多くの小売業など事業者が参加し、セルフレジ対策会議が開催された。有難いことに、この会議の後、小売業数社より万防機構へ入会があった。

セルフレジ不正対策会議「議事」（案）

【日時】２０２４年12月10日（火）14：00から15：30

【場所等】全国万引犯罪防止機構会議室（東京都千代田区神田駿河台1-2書店会館3階）またはＷｅｂ（Ｚｏｏｍ）

【費用】無料（募集対象は、原則「会員」）

【出席者】57名（29事業者・団体）※会場参加者27名、Ｗｅｂ参加30名
○小売事業者・団体（22社32名）
○保安警備業者（2社2名）
○セルフレジメーカー・販売事業者（5社6名）
○警察（3所属7名）
○全国万引犯罪防止機構（10名）

◆大切な人のためにも、生きぬいて！そのための防災講話

ＪＥＡＳでは第2回ファミリーセミナー「大切な人のためにも、生きぬいて！そのための防災講話」を開催する。皆様でご参加いただくためのファミリーセミナーとして開催する。

開催内容：
日時：1月16日（木）18：30～20：00、Ｔｅａｍｓ（ウェビナー）で実施
講師：専修大学文学部助教 鈴木比奈子先生
対象：会員及び関係団体の皆様、小売業・警備業の皆様（ロス対策士など）
目的：当工業会の会員においては、今回の能登地震・水害で、ボランティア派遣、義援金、防犯カメラ機器の提供などが行われました。その意義を皆様で確認し、今後の災害対策に活かしてまいります。ご家族でご参加いただければ幸いです。
主催：工業会ＪＥＡＳ
交通機関と関連店舗の保安強化プロジェクト及び防災士などの有志
受付：左のＱＲコードから

涅槃（ねはん）の意味

インド哲学者で東京大学名誉教授を務められた前田専學先生の著作によると、涅槃はサンスクリッド語でニルヴァーナという。西洋の研究者は、かつてニルヴァーナをａｎｎｉｈｉｌａｔｉｏｎ（全滅、消滅）という言葉で訳した。西洋の研究者たちは人間の霊魂も含む一切のものがまったくなくなって消滅してしまうことを意味する言葉で理解した。仏教徒は「なぜそのような虚無的なものを理想とするのか、仏教は虚無主義ではないか」と永遠不滅の霊魂の存在を信じている西洋のキリスト教徒の学者は考えたのでした。彼らにはまさしく異文化理解のつまずきの石で、なかなか理解し難いことであった。ブッダの到達した最高の境地である涅槃とは、言語的には「吹き消す」という意味をもつ。すなわち暗闇の中で赤々と燃えている一本のロウソクをふっと吹き消すと、静寂が訪れるが、そのように私たちの煩悩や愛着の火が消された後の寂静（じょうじゃく）の境地をニルヴァーナという言葉は意味しているとのこと。

ここからは私のなんの裏付けの無い至論になるが、涅槃とは「大いなる感謝」と「ゼロリセット」の両立を可能にする境地なのではないかと思う。いま消えかかる焚火の炎の最後の揺らぎを眺めながら「有難うね。いざ、さらば」とつぶやいたら、「にゃん、にゃん」と聞こえた。

全国万引犯罪防止機構（通称：マンボウ）
万引撲滅のための戦略を本気で提言・実践する小売業界を中心に組織化されたＮＰＯ法人
文：事務局（稲本義範）